

**大阪市地域公共交通計画
(なにわ筋地域)**

令和2年(2020年)12月

大 阪 市

～ 目 次 ～

第1章 基本的な方針	- 1 -
1-1 目的.....	- 1 -
1-2 基本方針.....	- 1 -
1-3 目標.....	- 2 -
1-4 計画の達成状況の評価方法.....	- 3 -
1-5 計画区域.....	- 4 -
1-6 計画期間.....	- 5 -
第2章 現状	- 6 -
2-1 区域の概況.....	- 6 -
2-2 上位計画及び関連計画.....	- 8 -
2-3 計画区域の人口・交通等の動向.....	- 15 -
(1) 計画区域の人口の動向・現状.....	- 15 -
(2) 計画区域の土地利用の現状.....	- 22 -
(3) 計画区域の交通の動向・現状.....	- 25 -
(4) 計画区域沿線の開発動向・現状.....	- 27 -
第3章 目標を達成するための取組み	- 30 -
(1) なにわ筋線整備事業の概要.....	- 30 -
(2) 事業に必要な資金の額・調達方法.....	- 32 -
(3) 整備による効果.....	- 33 -

第1章 基本的な方針

1-1 目的

大阪市では、関西国際空港を含めた大阪南部地域と都心部や国土軸に位置する新大阪とを直結する鉄道新線であるなにわ筋線の整備（整備主体：関西高速鉄道株、運行主体：西日本旅客鉄道株、南海電気鉄道株）を進めている。

なにわ筋線の整備を着実に進め、関西国際空港へのアクセス改善や交通結節点整備等により、鉄道ネットワークの充実を図るため、大阪市地域公共交通計画（なにわ筋地域）を策定するものである。

1-2 基本方針

①広域交通ネットワークの拡充

都心部から関西国際空港へのアクセス性は、主要国際都市であるロンドン、パリ等が各国国際空港まで所要時間が30分以内であるのに対し、大阪駅、梅田駅からの所要時間が50分以上であり、梅田駅からは難波ターミナルにおいて乗換が必要で、また新大阪駅からは、JR関空特急はるかの利用を除き、難波ターミナルや天王寺ターミナル等での乗換が必要で、アクセス性は十分ではない。

そのため、関西国際空港から大阪・梅田方面や新幹線駅である新大阪駅までのアクセスを改善するなど、広域交通ネットワークを拡充する。

②都市鉄道ネットワークの強化

Osaka Metro 御堂筋線は、大阪都心部を南北に貫通し、JR線や私鉄と接続する利便性の高い路線で、非常に高い混雑度で運行している。また、JR大阪環状線は、JR阪和線、JR大和路線が乗り入れており、JR大阪環状線の運行ダイヤが乱れた場合、他の路線に影響を与える。

そのため、既存路線や乗換ターミナル駅における混雑緩和、鉄道ルートの多重化による運行安定性の確保、交差する既存鉄道との結節による鉄道ネットワークの更なる充実、なにわ筋線沿線地域や大阪南部地域の鉄道利便性向上など、都市鉄道ネットワークを強化する。

1-3 目標

基本方針に基づき目標を定め、その達成状況を評価するため数値目標を設定する。

目標 広域交通ネットワークの拡充及び都市鉄道ネットワークの強化

①広域交通ネットワークの拡充

関西国際空港から大阪・梅田方面や新幹線駅である新大阪駅までのアクセスを改善するなど、広域交通ネットワークを拡充する。

【数値目標】 関西国際空港へのアクセス時間

なにわ筋線開業後の大阪（梅田）から関西国際空港へのアクセス時間として、下表の目標時間を設定する。

表1-1 なにわ筋線整備開業後の大阪（梅田）から関西国際空港へのアクセス目標時間

区間	経路	現在	なにわ筋線開業後
大阪（梅田）- 関西国際空港	J R	6 4 分	4 4 分
	南海	5 4 分	4 5 分

②都市鉄道ネットワークの強化

既存路線や乗換ターミナル駅における混雑緩和、鉄道ルート多重化による運行安定性の確保、交差する既存鉄道との結節による鉄道ネットワークの更なる充実、なにわ筋線沿線地域や大阪南部地域の鉄道利便性向上など、都市鉄道ネットワークを強化する。

【数値目標】 交差する既存鉄道との結節

なにわ筋線と既存鉄道との乗換ルートとして、下表の目標数を整備する。

表1-2 乗換ルートの整備目標

対象駅	なにわ筋線開業後
（仮称）中之島駅、（仮称）南海新難波駅	計 2 か所

1-5 計画区域

関西国際空港を含めた大阪南部地域と大阪市都心部や国土軸に位置する新大阪とを直結する鉄道新線のネットワークを対象とする。

○ 計画区域

なにわ筋線※沿線地域

※うめきた（大阪）地下駅 ～（仮称）西本町駅 ～ JR 難波駅
～新今宮駅（南海）

「うめきた（大阪）地下駅」は、JR 東海道線支線地下化・新駅設置事業で整備される新駅の呼称であり、現在の大阪駅の一部として開業する。従前は「北梅田駅」と仮称しており、本計画の図中の「北梅田駅」は「うめきた（大阪）地下駅」のことである。

区域の町名

北区梅田三丁目及び中之島四丁目

福島区福島一丁目、福島二丁目、福島五丁目及び福島六丁目

中央区難波二丁目、難波四丁目及び難波五丁目

西区土佐堀一丁目、江戸堀一丁目、京町堀一丁目、靱本町一丁目、西本町一丁目、阿波座一丁目、立売堀一丁目、新町一丁目、北堀江一丁目及び南堀江一丁目

浪速区湊町一丁目、元町一丁目、難波中一丁目、難波中二丁目、敷津東一丁目、敷津東二丁目、敷津東三丁目、戎本町一丁目及び戎本町二丁目



図 1-1 計画区域(広域)



図 1-2 計画区域(詳細)

1-6 計画期間

2020年度(令和2年度)から2031年度(令和13年度)を計画期間とする。